## 術前化学療法を行ったのちに、外科手術を受けた患者さんの 診療情報等を研究に利用することについての お知らせ

九州医療センターでは、九州医療センター倫理審査委員会 の審査を受け、病院長承認のもと、下記の臨床研究を実施しております。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及 び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

当該研究に診療情報等が用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の[相談窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合がございますので、ご了承ください。

四か細胞を	
研究課題名	当院における膵癌術前化学療法の現状
研究実施機関の	九州医療センター 消化器内科(医師) 三木正美
研究責任者	
研究の背景	現在の膵癌診療では、外科的切除が可能かの判断基準は癌が主要な血管にどの
	程度接しているかといった基準で判断されます。その基準において切除可能・切
	除可能境界と診断された場合、術前化学療法を行ったのちに手術を行うことが推
	奨されています。しかし、その術前治療の薬剤選択や治療期間は決まったものは
	なく、施設ごとに異なっているのが現状です。今後、血管への距離以外の基準に
	基づいた個々の患者さんへの治療指針の構築が課題とされています。
研究目的	本研究は当院の術前化学療法を行い、外科手術を行った膵癌患者さんの経過を
	振り返ることにより、どのような患者さんにどのような治療を計画することが望
	ましいかを検討することを目的とします。
研究実施期間	【調查対象期間】
	2017年4月~2023年9月までに膵癌の診断を受けたかたの2024年3月時
	点の診療情報が対象です。
	【研究期間】
	倫理審査委員会承認後から西暦 2024 年 12 月 31 日まで
研究の方法	【対象となる方】
	上記期間に膵癌の診断を受けて術前化学療法ののちに外科手術を受けたかたが対
	象です。 【 <del>                                    </del>
	【調査方法】   診療録より検討に必要な診療情報を取得します。
	砂原域のり探引に必要な砂原情報と以付しなり。
	【研究に利用する診療情報】
	図年齢 図性別 図身長 図体重 □写真【部位: 】
	図病歴 図既往歴 図治療歴【化学療法における治療薬、投与量、治療期間等、手術の

	1
	図予後【2024年3月時点 】
	□ 図臨床検査データ【血算(白血球、分画、赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリ
	ット、血小板) ・生化学(総蛋白、アルブミン、AST、ALT、ALP、LDH、
	γ-GTP、BUN、Cr、Na、K、Cl、 Ca、P、CRP、アミラーゼ、リパーゼ、
	HbA1c、CRP、T-Chol, TG)・腫瘍マーカー(CEA、CA19-9)】
	図画像データ【CT、MRI】
	ロアンケート【 】
	図有害事象【副作用・合併症の発生等】
	口その他【】
	【情報等の管理】
	●情報の管理責任者
	九州医療センター 消化器内科 医師 三木正美
個人情報の取扱い	情報等には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、
	個人を直ちに判別できるような情報は削除します。研究成果は学会で発表されま
	すが、個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。
研究組織	この研究は、当院のみの単施設研究です。
	研究代表施設 九州医療センター 消化器内科(医師) 三木正美
	(研究代表者)
	相談窓口   九州医療センター 消化器内科(医師) 三木正美
	〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1
	電話番号 092-852-0700